

佐伯城跡 御城印



一枚五〇〇円(税込)

※こちらの限定版はなくなり次第販売終了します。

令和6年版 限定発売

令和5年3月 国の史跡に指定されました。

初代の佐伯の殿様である毛利高政が、現在の城山山頂に祀られていた八幡様を西側に移し、城を築きました。

慶長7年(1602)城造りを開始、慶長11年(1606)に完成。
塩屋城、鶴屋城とも呼ばれます。

現在も往時を偲ぶ石垣が残り、山頂からの佐伯市街・番匠川・豊後水道の眺めも素晴らしく、人々に愛される山として多くの人が散策や体力づくりに登っています。

また、令和元年(2019)の調査で全国的にも珍しい4段の階段状石垣が確認され、新たに注目を集めています。



城山（佐伯城・鶴屋城）

元和3年(1617)二の丸が炎上。

寛永 14 年(1637) 三代高直より三の丸を御殿とする。

宝永6年(1709)城の大規模改修開始、19年をかけて完了するが、天守は再建されず。

明治4年(1871)廃城となり、山頂の建物は解体。

大正 13 年 (1924) 独歩碑の道が完成。

昭和3年(1928)山頂天守跡に毛利神社が創建。

昭和 20 年(1945) 4 月 26 日 B29 の爆撃で毛利神社は破壊。

昭和 45 年(1970)三の丸御殿解体、船頭町に一部移転、翌年跡地に佐伯文化会館が完成。

【 販 売 】

佐伯市城下町観光交流館
(佐伯市城下東町 8-19)

☎ 0972-28-5656

【お問い合わせ】

佐伯市観光案内所

 0972-23-3400



この原画は、佐藤巧氏の作品です